

霧島山のめぐみめぐる

えびの

広報

2020
FEB
vol.640

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

Ebino city
Public relations

特集
子どもたちの
未来のために

今月の掲載

つくってみよう!マイナンバーカード

pick up information

TOPICS

Face 人 坂元裕二郎さん



みんなで築いた50年 次に進もう新時代

子どももたちの未来のために



あすのえびの市の発展を担うのは、子どもたちであり、子どもたちはかけがえない地域の宝です。すべての子どもたちが自分の可能性を信じて挑戦することにより、未来を切り拓いていくような社会でなくてはなりません。

「子どもの貧困」という言葉を聞いたことがありますか。子どもの貧困とは、子どもが経済的困窮と社会生活に必要な物の欠乏状態に置かれ、発達段階におけるさまざまな機会が奪われた結果、人生全体に影響をもたらすほどの深刻な不利を負ってしまうことを指します。今わが国では、7人に1人の子どもがこのような貧困状態にあるといわれています。

2つの貧困

貧困には絶対的貧困と相対的貧困の

2種類があるといわれています。絶対的貧困とは、着るものがない、食べるものがない、住む場所がないといった、人間が生きていくために必要な最低限の衣食住を欠いている状態をいいます。また、相対的貧困とは、平均的な所得の半分に満たない家庭状況で電気・ガス・水道が止められたことがあったり、保険料や医療費が払えず病院に行けなかったり、家計を支えるため進学を断念せざるを得なかったりするなど、経済的困窮を背景にさまざまな面で不利な状況に置かれていることをいいます。子どもの貧困は、このような相対的貧困のことをいいます。

貧困への対策

国においては、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が平成25年6月に成立し、5年経過した令和元年9月7日に新たな取り組みが盛り込まれた改正法が施行されました。県でも平成28年3月に「宮崎県子どもの貧困対策推進計画」が策定され、現在、改正法に基づく新たな計画を策定中です。

これまで、子どもの貧困問題は、家庭の責任を過度に重く見る考えがありました。今後は、子どもの貧困問題を社会全体で捉え、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右される

ことのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境を整えることが必要になっていきます。

貧困対策推進計画を策定

市では、平成29年3月にえびの市子どもの貧困対策推進計画を策定しました。

特に計画では「市民参画と協働」を基本に掲げ対策に取り組んでいます。

○支援体制の点検・助言等を行う協議会の設置

行政や教育機関、地域、企業、市民団体、民生委員・児童委員等で構成する「えびの市子どもの未来応援協議会」を平成29年7月に設置し、これまで7回の協議を重ね、支援の拡充や対策に向けた協議を行っています。

○協働による市民ネットワークづくり
社会福祉協議会の「カレーの日」やNPO団体の「食の体験」活動と連携し、その運営の支援を行う各種団体とのネットワークづくりに努めています。

○コーディネーターの配置

平成29年度に子ども自立支援員2人を配置し、子どもの貧困対策の推進役として、地域の現状の把握や支援を必要としている対象者を関係機関につな

ぐ役割を担っています。また、小中学生の生活の実態や保護者の思いなどを詳しく把握するためにアンケート調査を実施し、支援対策の参考としています。

○市民参加・協働による支援

真幸まちづくり協議会の「寺子屋ランチ」の立ち上げに協力し、先進地視察や備品購入等に係る市補助金交付要綱を策定しています。

さらに、平成30年度から、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることを目的に、学生服のリユース事業に取り組むため、実施要綱を策定し、平成30年10月から事業を実施しました。この事業には、市民をはじめ市内の事業所、企業等の協力ももっています。

○子どもの貧困に関する周知・啓発

平成29年度に子どもの貧困対策推進計画の概要版を作成し、市民の皆さんに研修会等で配布しています。

また、平成29年度と平成30年度に、宮崎大学、南九州大学から講師を招き、市民を対象にした「えびの市子どもの未来応援研修会」を開催し、約300人の参加者がありました。出前講座では、「子どもの貧困の状況や市の貧困対策推進計画」について啓発しています。

子どもの貧困対策における基本理念

すべての子どもの夢と希望を実現するまちづくり

～市民参画・協働による推進～

基本方針1 支援ネットワーク体制づくり

- (1) 支援体制の点検・助言等を行う協議会の設置
- (2) 協働による市民ネットワークづくり
- (3) コーディネーターの配置
- (4) 市民参加・協働による支援
- (5) 子どもの貧困に関する周知・啓発

基本方針2 健康・生活への支援

- (1) 保護者の健康・生活への支援
- (2) 子どもの健康・生活への支援

基本方針3 子どもの育ち、学びへの支援

- (1) 乳幼児期の子どもの育ち、成長の支援
- (2) 学校教育における学び、成長の支援
- (3) 子どもの居場所づくりの推進

子どもを支える活動

すべての子どもが健やかに育成される環境を整えるために「市民参加・協働」で、次の活動が行われています。

○学生服のリユース事業

市では、子育て支援を目的に市内の中学、管内の高校を対象とした制服のリユース（再利用）事業を行っています。これは、卒業するなどして家庭から不要になった制服を集めて、希望者に無償で配布するものです。

市内の小中学校の児童・生徒の保護者を対象にアンケートを実施したところ、「制服代が高く負担になっていく。再利用できる制服があれば使用する。再利用できる制服があれば使用する。」との意見があったことから開始しました。約350着が集まり、約100着を提供しています。

【提供してもらったもの】
・飯野、上江、加久藤、真幸中学校の制服（夏・冬）

【提供対象者】市内に在住の人、市外に在住で飯野高校へ進学または在学中の人

○子ども食堂

地域の子どもの見守り、居場所づくり、世代間交流等を目的に、子ども食堂が行われています。

この取り組みは、行っている団体へ

の寄付などで運営されています。また、調理や遊びの準備、催し物等は、地域の皆さんや民生委員・児童委員の皆さんなどがボランティアで行っています。

子ども食堂では、昼食の提供だけでなく、ボーリングや輪投げなどの遊びや手品の披露、紙芝居、読み聞かせも行っています。

【真幸地区】「寺子屋ランチ」
主催：真幸まちづくり協議会
開催日：毎月第3土曜日

【飯野・上江・加久藤地区】「カレーの日」
主催：えびの市社会福祉協議会
開催日：各地区3カ月に1回

令和2年度から飯野地区は、飯野ま

ちづくり協議会が行う準備を進めています。

子どもの未来のために

子どもたちは経済的な要因だけでなく、家庭における教育力や地域社会の見守り機能の低下などを背景に、本人の努力の及ばない中で、その将来が閉ざされてしまいかねない状況にあります。子どもたちの未来のために、行政・家庭・関係団体・地域等が相互に連携して子どもの成長を支える社会づくりに取り組んでいくことが大切です。

岡市福祉事務所子育て支援係
☎ 35・3738（直通）



6



5



8



7



1



2



3



4



10



9



11

①加久藤地区：サラダの盛り付け②飯野地区：カレーのあく取り③真幸地区：弁当箱に料理を盛り付け④上江地区：カレーの下ごしらえをする⑤～⑧各地区の子ども食堂で子どもたちが食事をする様子⑨手品を楽しむ子どもたち⑩真剣に読み聞かせを聞く子どもたち⑪輪投げで遊ぶ子どもたち

税

軽自動車の廃車・変更手続きは3月31日までに

市税務課 市民税係 ☎35-3734 (直通)

軽自動車税は、毎年4月1日現在で、宮崎運輸支局に登録されている軽自動車や126cc以上のバイクの所有者、市町村で登録されているバイク(125cc以下)や小型特殊自動車の所有者に課税されます。
4月1日に所有者(使用者)であれば、4月2日以降に売却したり、廃車したりしても、その年度分は納税義務者となります。逆に4月2日以降に軽自動車等を取得しても、その年度は納税義務者にはなりません。
所有者(使用者)であるかどうかは、4月1日現在の運輸支局やえびの市での登録状況により判断します。

【軽自動車等を下取りに出したり、他人に譲渡したりした場合は名義変更の手続きを】
車検切れで乗らなくなったたり、事故等により使用不能になったりした場合は、登録抹消(廃車)の手続きを3月31日まで必ず行ってください。
盗難にあった場合は、警察の届け出とは別に市税務課にも届け出てください。登録がそのままであると、実際に使用されていなくても、軽自動車税が課税されることになります。
住所が変わった人も、車検証等に登録されている住所の変更の手続きが必要になります。名義変更や登録抹消(廃車)、住所変更の手続きを自動車販売店などの第三者に依頼した場合は、必ず手続きが完了したかどうか確認してください。
近年、オークションでの軽自動車売買取引等で、依頼したつもりでも、依頼先(代行先)が手続きを行っていないか、手遅れしたりして、手続きが4月1日に間に合わず課税されるケースがあります。廃車手続きが完了しているか、必ず確認をしてください。

【農耕作業用車両も標識交付の申請が必要です】
えびの市税条例第91条(原動機付自転車及び小型特殊自動車の標識の交付等)により、「新たに原動機付自転車又は小型特殊自動車に係る軽自動車等の所有者等となった者は、市長に対し、標識交付申請書を提出し、かつ、車体に取り付けるべき標識の交付を受けなければならない」となっています。
小型特殊自動車の中に、農耕作業用車両も該当します。農耕作業用車両の中には、標識を取り付ける箇所のない車両もあるようですが、えびの市条例の規定により、購入した際は、市道の走行の有無に関わらず、標識交付の申請をしてください。
標識交付の申請の手続きについては、①所有者の印鑑②車台番号がわかるもの(販売証明書など)を登録時に持参してください。譲り受けて新規登録する人は、譲り渡しの人の印鑑も必要です。

◎軽自動車税に関する手続き場所

Table with 3 columns: 軽自動車の種類, 手続き場所, 必要なもの. Rows include 原動機付自転車, 軽自動車四輪乗用, 二輪の小型自動車.

※軽自動車や二輪の小型自動車の手続きは、お近くの自動車整備工場にご相談ください

つくってみよう！マイナンバーカード



マイナンバーカードは、マイナンバー(個人番号)と本人の顔写真等が表示されたカードです。公的な身分証明書として利用できます。

通知カードとともに送付された個人番号カード交付申請書で申請すると、マイナンバーカードの交付を受けることができます。初回交付手数料は無料です。

なお、交付申請書をなくした場合には再発行しますので、本人確認書類を持って市民環境課へお越しください。

申請方法は簡単です

■スマートフォン

- ①スマートフォンで顔写真を撮影
②スマートフォンで交付申請書のQRコードを読み取る
③申請用WEBサイトでメールアドレスを登録
④申請者専用WEBサイトのURLが届いたら顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了



■郵便

交付申請書に必要な事項を記入し、6カ月以内に撮影した顔写真を貼り付けて郵送し、申請完了

■パソコン

- ①カメラで顔写真を撮影
②申請用WEBサイトでメールアドレスを登録
③申請者専用WEBサイトのURLが届いたら、顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了

マイナンバーカード申請のお手伝いをします

市では、マイナンバーカードの交付申請書の書き方の説明や写真撮影を行うなど、申請の補助を行っています。市民環境課市民・年金係に電話でご予約のうえ、お越しください。

【持参するもの】通知カードと一緒に送付された交付申請書(お持ちの場合)と運転免許証などの本人確認書類

市民環境課 市民・年金係 ☎35-1117 (直通)

マイナンバーカードでマイナポイントがもらえる

マイナンバーカードを取得し、マイキーIDを設定の上、「〇〇ペイ」などの民間キャッシュレス決済サービスを利用して、一定額の前払い等をした人に対して国が「マイナポイント」を付与します。



利用までの流れ

Flowchart with 5 steps: ①マイナンバーカードを【取得】 ②マイキーIDの【設定】 ③決済サービスの【選択】 ④マイナポイントを【取得】 ⑤マイナポイントを【利用】

1/13

五日市メノモチづくり



伝統を継承する

五日市自治公民館で「メノモチづくり」が行われました。メノモチとは、丸餅や紅餅をさいの目に切ったものを榎の枝にさしたものです。これを、かまどやもみ俵、墓などに飾ります。

地区の高齢者クラブと子どもたちの世代間交流事業として行われているもので、約40人が参加しました。

高齢者クラブの指導の下、子どもたちは白、赤、緑の餅を榎の枝にさしていました。

1/11
・12

市長旗争奪高校女子バレーボール大会



新春に20校がえびのに集う

市民・駅前地区・飯野高校体育館で「第10回市長旗争奪高校女子バレーボール大会」が行われました。

大会には、宮崎県・鹿児島県から20校が出場し、2日間にわたって優勝目指して白熱した試合を行っていました。

また、開会式では、第10回を記念して、市長から記念品が各校に渡されました。

1/10

全国社会福祉大会厚生労働大臣表彰



地域社会福祉推進に尽力

えびの市民生委員児童委員協議会の委員9人が、11月に行われた「全国社会福祉大会」で厚生労働大臣表彰を受けたことを市長に報告しました。同大会は毎年行われているもので、今年は39団体が優良活動団体として表彰されました。えびの市が選ばれたのは初めてです。

同会会長の上野憲昭さんは「今後も委員みんなと同じ目標に向かって頑張っていきたいと思えます」と話していました。

1/8

新春地域・交通安全のつどい



安全・安心なえびの市を目指す

市文化センターで「新春地域・交通安全のつどい」が行われました。つどいには、市内の29団体、約120人が参加し、長年地域の防犯や交通安全に寄与した個人や団体へ感謝状などが贈られました。また、警察署から昨年は軽犯罪は減少しているが、交通死亡事故が2件発生したことの報告がありました。

つどいの最後には、一つでも犯罪と事故を減らそうとがんばろう三唱が行われました。

1/13

市町村対抗駅伝競走大会



声援を受けたすきをつなぐ

宮崎市で「第10回宮崎縣市町村対抗駅伝大会」が行われました。今大会から中学生女子の区間が新しく加わり、宮崎県庁をスタート・ゴールとする12区間39.2kmをたすきでつないで走りました。県内全26市町村から44チームが出場しました。

えびの市は2時間17分59秒で市郡の部9チーム中8位、全体で24位でした。沿道では多くの方が選手たちへ声援を送っていました。

1/12

令和2年えびの市消防出初式



地域の安全・安心を守る

湯田橋下流河川敷で「令和2年えびの市消防出初式」が行われました。式には、消防団員や消防署員など約250人が参加しました。

式では、規律正しい分列行進や通常点検、長年にわたり消防活動に精励した消防団員の表彰が行われました。

また、飯野高等学校・飯野中学校・加久藤中学校の吹奏楽部が、式典中のラッパ吹奏の協力とアトラクション演奏を行いました。

1/11

令和2年わけもんの主張西諸大会



自分たちの未来のために

飯野地区コミュニティセンターで「令和2年わけもんの主張西諸大会」が行われました。大会には、えびの市代表として飯野高校1年生の今里尽さんが参加しました。今里さんは、「変化する社会を生き抜くために今思うこと」と題し、「日々変化する世の中を生きていくために主権者である自分たちが未来をつくっていかねばいけません」と発表しました。今里さんは優秀賞に選ばれ、県大会に出場しました。

1/10

飯野高校グローバル発表会



1年間の活動を総括

市文化センターで「グローバル学習成果発表会」が行われました。これは、飯野高校生が地域での1年間の活動を通して地域の課題を探究してきた成果を発表するもので、地域貢献、地域探求、地域支援活動について発表が行われました。

同会実行委員長の江島翔さんは「仲間が助け^{かける}てくれて良い発表会ができました。これからも続けていってほしいです」と話していました。

1/30

吉都線シンポジウム



ローカル線は地域の広告塔

小林市文化会館で吉都線シンポジウムが行われました。これは JR 吉都線利用促進協議会が、ローカル線の利用促進を通じた地域振興を沿線地域住民や関係機関と共有するために行ったものです。

シンポジウムでは、いすみ鉄道前社長鳥塚亮氏の講演「ローカル線から地域を元気にする方法」と「JR 吉都線の未来に向けて」というテーマでパネルディスカッションが行われました。

1/29

加久藤中学校テニス九州大会出場報告



全国大会出場を狙う

加久藤中学校男子生徒 4 人が市長を訪問し、第 6 回九州中学校選抜テニス大会に出場することを報告しました。同大会は 2 月 2 日、熊本市で開催され、全国選抜中学校テニス大会九州代表選考大会にもなっています。

1 月 12 日に行われた宮崎県新人中学生テニス選手権大会の男子団体で優勝し出場権を獲得しました。生徒たちは「九州で 1 位になって、全国大会に行きたいです」と抱負を述べました。

1/18

白鳥温泉上湯・下湯に寄贈



気軽にご使用ください

白鳥温泉上湯と下湯にピアノやソファ、ハンモックが寄贈されています。ピアノとソファは九州 きりしま えびの 地方創生特命大使の藤山邦子氏、ハンモックは海洋冒険家の中里尚雄氏が寄贈しました。

藤山氏は「地域の交流・活性化につながればという思いで寄贈しました。ピアノやソファは、幅広く皆さんにお使いいただければうれしいです」と話していました。

1/14

餅勤進



愉快的な祭りで厄払い

市内各地で「餅勤進」が行われました。これは、厄年にあたる男女が行う厄払いの行事で、無病息災・家内安全を祈願する愉快的な伝統奇祭です。餅勤進を行った人は、仮装をし、友人や知人の家を回り、音楽に合わせて家の中で踊りながら厄を払いました。

餅勤進に参加した大野修さんは、「協力していただいた皆さんのおかげで友人たちと一緒に厄を払うことができました」と話していました。

2/2

第74回南九州駅伝競走大会



声援を受けて激走

「第 74 回南九州駅伝競走大会」が行われました。真幸地区体育館前をスタートし、都城市立美術館前をゴールとする 7 区間 61.3km で行われ、45 チームが健脚を競いました。

えびの市からは、自衛隊を中心に構成された「自衛隊のまちえびの」チームが出場し、結果は 3 時間 42 分 26 秒で 37 位でした。

沿道からは、多くの市民の皆さんの熱い声援が送られていました。

1/30

キャッチボールキャラバン



野球の楽しさを知る

加久藤小学校で福岡ソフトバンクホークス OB によるキャッチボールキャラバンが行われました。これは、ホークス OB 講師が、児童と一緒にキャッチボールなどの講習・実技を行い、野球や屋外で仲間と一緒に体を動かす楽しさを体験してもらおうと行っているものです。講師として、塚田正義氏と河野大樹氏が訪れ、同小学 2 年生 30 人が参加しました。試合では、プレーのたびに歓声が上がっていました。

1/28

サンマリノ共和国領主市長表敬訪問



えびのの魅力に触れる

「九州 きりしま えびの 地方創生特命大使」である藤山邦子氏を通じて、サンマリノ共和国領主のステファノ・バレンティーニ氏が市長を訪れました。ステファノ氏は、市長と、翻訳機を使ってサンマリノ共和国やえびの市のことについて、会話を楽しみました。

また、市内の温泉や新鮮な食材などのえびのの魅力に触れ、「温泉がとても良く、えびの米もおいしいです」と話していました。

1/17

えびのまちづくりカフェ



えびのの未来を考える

飯野高校で「えびのまちづくりカフェ」が行われました。講師に田坂逸朗氏を招いて、ワールドカフェ方式で行われ、今年 12 月 1 日に市制施行 50 周年を迎えることから「わたしの未来、えびのの未来」というテーマで語り合いました。高校生からは「えびのの米を使った化粧品等を作りたい」「釣りやカヌーなどのえびのならではのスポーツ大会 (e-スポーツ大会) を開催する」などの意見が出ていました。



坂元裕二 さん

Profile
さかもとゆうじろう / 東内 22歳 / 趣味: スポーツ、音楽鑑賞

おすすめの冊



みずとはなんじゃ?
かこさとし / 作
鈴木まもる / 絵
(小峰書店)



ますます心とカラダを整える
おとなのための1分音読
山口謙司 / 著
(自由国民社)

お知らせ

■文化の杜の春まつり

家族皆さんで楽しめるイベントです。ぜひ、お越しください。

- 開催日=3月8日(日)
- 場所=市民図書館・市歴史民俗資料館・市文化センター
- 【市民図書館】
- 時間=午前10時~午後4時
- ブックリサイクル(ホール付近)
- ブックランド号と子どもの広場(東側通路)
- 上映会「おしりたんてい3」(学習室)(午前10時~午前11時)
- 牛乳パックを使った紙トンボ作り(館内)
- えびの検定Part.3 ※先着60人にプレゼントあり(館内)
- 図書館HAPPY BOOKS ※限定10セット(館内)
- 調べる学習表彰式(正午~午後0時30分)
- 物販
- 【市歴史民俗資料館】
- 時間=午前9時~午後5時
- ひなまつり作品展示 ※市内の幼稚園・保育園の作品
- 【市文化センター】
- 時間=午前10時~、午後2時~
- スライム作り ※要予約

えびの市民図書館

☎35-0242 <https://ebino-city-lib.jp/>

- 開館時間 ■ 火曜日~土曜日 / 午前9時~午後7時
日曜日・祝日 / 午前9時~午後5時
- 休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

◎ブックランド号

	3月	時間
飯野駅前地区体育館→飯野出張所	4日(水)、17日(火)	14:05~15:15
藤橋団地→大平職員宿舎→自衛隊官舎	6日(金)、19日(木)	14:50~16:30
岡元小学校→市立病院→さくら苑	11日(水)	13:15~15:15
ブラッセだいわ→真幸地区体育館→老人福祉センター	12日(木)	14:05~16:30
飯野地区コミュニティセンター	13日(金)	14:05~14:30

心の一首一句 あなたもつくってみませんか。

短歌

二日市露店の数は多けれど
不況の風は頬に冷たき

福元幸子

二月の風はまだ寒い。しかし人は空の明るさに春を感じる。節分、立春となり、えびの市では、伝統の二日市が来る。作者は昔と比較して人口も少なく世情も厳しいのを心から痛感した詠である。
(評:竹下妙子)

俳句

初場所や一途といふはうつくさ

川原伊津子

令和として初めて迎える初場所には、特別なものを感じます。力士たちの姿も美しいし国技館もいつになく華やいで見えました。横綱不在の場所ではありませんが、若い力士の台頭、平幕の優勝など連日、楽しませてくれました。
(自註)

詩

趣を変えて飲めば

西幸一

多分焼酎好きであった
曾祖父 祖父 父も
飲んだであろう 焼酎を飲む
一升瓶からコップにはなく

銚子に先ず お湯 焼酎を入れ
盃へと 一手間工夫し
チョコビチョコビ グイッと飲む
趣を 変えるだけで 酔いが

違う感じがする
何が そうさせるのか
焼酎の 魔力も拝借し
今宵も ホロリと酔う

ものづくりの
楽しさを伝えたい



「金メダルが取れるとは思っていませんでしたので、めちゃくちゃうれしかったです」と話すのは、坂元裕二さんです。坂元さんは、2019年8月22日から27日にロシア連邦カザンで行われた第45回技能五輪国際大会の産業機械組み立て職種で見事金メダルを獲得しました。技能五輪大会は、ものづくりの五輪大会で22歳以下の人たちが技術を競います。坂元さんは、2018年の国内大会の機械組み立て職種で優勝し、国際大会への出場権を得ました。

高校進学の際には悩んだといいます。「ものづくりが楽しくて、大好きでした。友人と一緒に地元の高校とか高専とか悩みました。その時、父の愛知にもあるぞという言葉でデンソー工業学園を目指すことにしました」

幼い頃から負けず嫌いで、何かで一番になりたいと思っていて坂元さん。「学園の技能五輪の選手を見てかっこいいと思ったので、技能五輪選手を目指しました」と話します。3年間やりがけを続けたそうです。「金属をヤスリだけで切るのには相当な力もいりますし、大変な作業です。でも勝つために練習しました。大きな目標を達成するために努力しました」

現在は、技能五輪を目指す後輩の指導を行っています。「私が周囲の人に支えられていたように、後輩の力になれればと思っています。そして、ものづくりの楽しさを子どもたちに伝えていく活動も行っていきたいです」

(短歌) 竹下妙子さん ☎37-3056 (俳句) 松山良文さん ☎33-4904 (詩) ポエム同好会(田中虎夫さん) ☎33-2959まで

活用ください「# 8080」



高 齢運転者、病気や障がいのある人など運転に不安を覚える人またはその家族からの相談を全国統一の電話番号で受け付けています。

- 安全運転相談ダイヤル
- 【電話番号】# 8080
- 【受付時間】午前8時30分～午後5時15分(平日)
- 【相談内容】
 - ・病気について
 - ・身体障がいについて
 - ・免許の自主返納について
 - ・高齢者向けの安全運転について
 - ・運転が危ぶまれる高齢者について など

1月の交通事故発生状況	人身	0件	本年累計	0件
	物件	28件	本年累計	28件

ヒートショックにご注意！



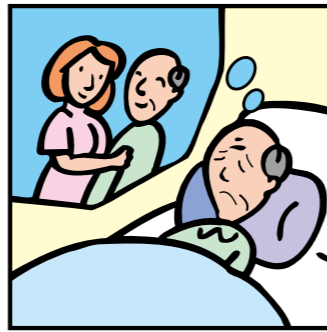
ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所へ移動することで発症し、急激な温度変化により血圧が大きく変化することが原因で起こる健康障害です。

特に失神、脳梗塞、心筋梗塞、不整脈などが引き起こされ、浴室で起こると転倒の危険や湯船で溺れるなど命に関わる場合もあります。

- 次のことに気を付けましょう。
- ・外気温が比較的高い日没前に入浴する
- ・食事後1時間以内また、飲酒時の入浴を控える
- ・入浴前後に水分を補給する
- ・部屋間の温度差をなくす

1月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	1件	年計	1件
	救急	78件	年計	78件

あんしんねっと



「緊急通報システム」で安心な暮らしを

市では、おおよね65歳以上の1人暮らしで病弱な人、1人暮らしで外出が困難な重度身体障がいのある人、75歳以上の夫婦世帯どちらか一方が寝たきり状態または病弱である人などが、日常生活における不安を解消し自宅で安心して暮らしてもらえるよう、緊急通報システム貸与を行っています。

この緊急通報システムは、自宅に設置している固定電話の電話回線を利用します。親機と小型ペンダントに押しボタンがあり、緊急時にそのボタンを押すと、24時間対応しているコールセンターへつながります。看護師等の職員が相談対応を行い、症状への対応方法の伝達、救急車の出動要請、協力員への連絡を行います。また、毎月1回コールセンターから、生活状態や体調に変化がなかったかなどを確認する電話も行われます。

緊急通報システムの貸与を希望する人や説明を聞きたい人は、地域包括支援センターや最寄りの在宅介護支援センターに、ご連絡ください。

- 地域包括支援センター ☎ 35-1112 (課直通)
- 東部在宅介護支援センター ☎ 33-2377
- 南部在宅介護支援センター ☎ 25-3222
- 中部在宅介護支援センター ☎ 35-2800
- 西部在宅介護支援センター ☎ 37-3085

文：中部在宅介護支援センター

男女共同参画



SDGsと男女共同参画

最近、SDGs(エスディージーズ)という言葉をよく耳にしませんか。SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月に国連サミットで、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2020年アジェンダ」に記載された世界共通の目標です。

2030年までに達成する17の目標と、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人、取り残さない」ことを理念として、世界中で取り組まれています。SDGsの17の目標の一つに、「ジェンダー平等」が掲げられています。これは、男女が平等で、女性や女兒が能力を発揮できることを目指すものです。

昨年12月に、世界経済フォーラムが各国の男女格差を測る2019ジェンダーギャップ指数を発表しました。日本は153カ国中121位と過去最低の結果となりました。

文：市総務課 人権啓発室

いきいき!健康



特定健診で心房細動を見つけてみましょう

3月9日は脈の日です。皆さん、脈はリズムよく打っていますか? えびの市の死亡原因を調査したところ、不整脈や伝導障害(心臓は弱い電気で動いており、その電気の障害)による死亡率が、宮崎県と比較し約2倍、全国と比較し約4から5倍高くなっています。不整脈には危険な不整脈と問題のない不整脈があります。問題のある不整脈の1つに心房細動(通常1分間に70回位の脈拍が300

から500回位脈を打つ不整脈)があります。なぜ、危険かという点と心臓にできた血の塊(血栓)が、心臓から運ばれて脳や首の大きな動脈に詰まることにより、脳梗塞などを引き起こし、突然、寝たきりや認知症などの重い後遺症が残ったり、最悪の場合は亡くなってしまうことがあるからです。ただ、適切な治療(血栓を溶かす薬を飲む)を受けることにより、6割以上は脳

梗塞になるのを予防することができます。心房細動は、脈拍の自己測定や心電図検査により、早期発見することができます。市が実施している特定健康診査では全員心電図検査を受けることができます。令和元年度の特定健診は終了していますが、令和2年度は6月から開始されますので、ぜひ、受診してください。

文：市健康保険課 徳丸保健師

お知らせ

I will inform you.

第3回八幡丘公園再整備を考える市民ワークショップ

市では、八幡丘公園の再整備に伴い、市民の皆さんの意見や要望をできるだけ多く取り入れるため、市民ワークショップを開催してきました。今後、これまでに収集した意見や要望などをもとに、宮崎大学と共同で八幡丘公園再整備基本構想(案)を作成することとしています。

報告会として、第3回市民ワークショップを開催します。ぜひ、ご参加ください。

【日時】3月26日(木) 午後5時～午後7時

【場所】飯野地区コミュニティセンター

【内容】八幡丘公園再整備基本構想の報告および意見交換 ※ワークショップ後に交流会を予定しています。

【申込方法】市観光商工課観光係に電話でお申し込みください。 ※第1回、第2回に不参加の人でも参加できます。

申・閩市観光商工課 観光係

☎35-1114 (直通)

「オレンジカフェよかところ」に参加しませんか

市では、認知症や介護等についての不安や悩みなどを気軽に相談し合える集いの場「オレンジカフェよかところ」を定期的に開催しています。認知症予防につながる脳いきいき体操や催し物も行っています。「いろいろな人とおしゃべりを楽しみたい」など関心がある人は子どもから大人までどなたでも参加できます。いつもと違う環境の中で新しい刺激を受けて気分転換してみませんか。

【開催日】3月18日(水)

【時間】午前9時30分～午前11時30分(途中入退中は自由です)

【場所】市国際交流センター ダイニングホール

【内容】「本人座談会」視聴会～認知症の当事者の気持ちを聴いて、自分自身の「認知症観」を考えてみましょう～

【参加費】1人100円(飲み物・お菓子代として)

【対象】認知症と診断された人や認知症のような症状がある人(診断の有無は問いません)または介護者、内容に関心のある人

【申込方法】当日参加もできますが、可能な限り開催前日

までに、市地域包括支援センターに電話でお申し込みください。

申・閩市介護保険課 地域包括支援センター (担当:黒川)

☎35-1112 (課直通)

九州脊梁山地シカ広域一斉捕獲が行われます

えびの市を含む宮崎・鹿児島・熊本・大分・福岡県の5県および各市町村合同で春期のシカ一斉捕獲を実施します。期間等は以下のとおりです。

期間中の入山等については十分ご注意ください。市民の皆さんのご協力をお願いします。

【一斉捕獲期間】3月22日(日)～29日(日)

【一斉捕獲日】①3月22日(日) ②3月29日(日)

閩市農林整備課 林務係

☎35-3725(課直通)

インフルエンザ・新型コロナウイルスの感染症予防を

県内でインフルエンザが流行しています。インフルエンザは、子どもや高齢者では重症化することがあります。

また、中華人民共和国湖北省武漢市で、昨年12月以降、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が複数報告されています。

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、一人一人がせきエチケットや手洗いなどの感染症予防に努めてください。

なお、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合の相談窓口は小林保健所になります。

閩小林保健所

☎23-3118

閩市健康保険課 市民健康係

☎35-1116(直通)



えびの市スタート
新市の開庁式は12月1日午前10時から加久藤中学校体育館で、知事など300人が列席して盛大に行われました。式典では、万歳三唱で新市の発足を祝いました。えびの市は、昭和41年11月3日に、三町が合併してえびの町となり、昭和45年12月1日市制施行となりました。

(昭和45年12月号掲載)



みんなで築いた50年 次に進もう新時代



恨みの山津波
7月6日、西内野地区に山津波が発生。およそ30万立方メートルの土砂を流出し、住家28棟、非住家29棟を押し流し、死者、行方不明者、負傷者合わせて9人を出しました。6月上旬から降り始めた梅雨は、市内全域に甚大な被害をもたらしました。

(昭和47年8月号掲載)



第24回全国植樹祭
4月8日、昭和天皇、香淳皇后を迎え、小林市の夷守台で第24回全国植樹祭が行われました。7日には、えびの高原ホテルの前で、約100人のえびの市老人クラブの皆さんがお出迎えしました。

(昭和48年4月号掲載)

このコーナーは、昭和45年から48年までの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています。

会計年度任用職員を募集します

市では、次のような業務の会計年度任用職員を募集します。

■一般事務（市民環境課窓口）

【募集人員】若干名

【業務内容】①戸籍、住民票交付業務等（市民年金係）

②犬の登録、庁舎案内等（生活環境係）

【適任要件】パソコン（ワード・エクセル）ができる人

【報酬】5,783～6,148円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】午前9時～午後4時15分（月曜～金曜 ※祝日・年末年始を除く）※時期によっては時間外勤務あり

【勤務場所】市民環境課

【申込期限】3月13日（金）午後5時まで

申・問①市民環境課 市民年金係

☎35-1117（直通）

申・問②市民環境課 生活環境係

☎35-3731（直通）

■白鳥地区畑地かんがい事業に伴う出土品整理業務

【募集人員】2人

【業務内容】白鳥地区畑地かんがい事業に伴う出土品の整理業務

【適任要件】文化財等に興味があり、精密な作業ができる人

【報酬】5,783円～6,148円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】午前8時30分～午後5時15分の内6時間15分（月曜～金曜 ※祝日・年末年始を除く）

【勤務場所】市歴史民俗資料館

【申込期限】3月10日（火）午後5時まで

申・問市社会教育課 文化係（市文化センター内）

☎35-2268（課直通）

■基地対策事務

【募集人員】1人

【業務内容】自衛隊訓練時の連絡調整、自衛隊関係団体との連絡調整や会議開催等に関する業務、基地対策全般における業務補助

【報酬】5,783円～6,148円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】午前9時～午後4時15分（月曜～金曜）※場合によっては土・日、祝日の勤務あり

【勤務場所】市基地・防災対策課

【申込期限】3月6日（金）午後5時まで

申・問市基地・防災対策課 基地・防災対策係

☎35-1119（直通）

■防災専門員

【募集人員】1人

【業務内容】自主防災組織の活動支援業務、避難訓練等の企画立案支援業務、災害発生時の災害対策本部支援業務、市地域防災計画書等の見直し業務

【報酬】11,082円～11,528円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】午前9時～午後4時（月曜～金曜）※場合によっては土・日、祝日の勤務あり

【勤務場所】市基地・防災対策課

【申込期限】3月6日（金）午後5時まで

申・問市基地・防災対策課 基地・防災対策係

☎35-1119（直通）

■マイクロバス運転業務

【募集人員】1人

【業務内容】マイクロバスの運転業務

【資格要件】中型自動車運転免許（8トン限定は不可）もしくは大型自動車運転免許

【報酬】7,612円～8,266円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】午前9時～午後5時 ※場合によっては時間外、土日・祝日の勤務あり

【勤務場所】市財産管理課

【申込期限】3月19日（木）午後5時まで

申・問市財産管理課 管財係

☎35-1120（課直通）

■庁舎電話交換業務

【募集人員】1人

【業務内容】庁舎の電話交換業務

【報酬】5,957円～6,429円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】交代制

・午前8時30分～午後3時30分（月曜～金曜 ※祝日・年末年始を除く）

・午前10時15分～午後5時15分（月曜～金曜 ※祝日・年末年始を除く）

【勤務場所】市財産管理課

【申込期限】3月19日（木）午後5時まで

申・問市財産管理課 管財係

☎35-1120（課直通）

■えびの市自衛防疫推進協議会事務、内水面事務等

【募集人数】1人

【業務内容】えびの市自衛防疫推進協議会事務、内水面事務等

【適任要件】パソコン（ワード・エクセル）ができる人

【報酬】5,552～5,902円（日額）※通勤・期末手当あり

【勤務時間】午前9時～午後4時（月曜～金曜 ※祝日・年末年始を除く）

【勤務場所】市畜産農政課

【申込み期限】3月16日（月）午後5時まで

【面接日】3月18日（水）

申・問市畜産農政課 畜産振興室

☎35-3744（課直通）

◎共通事項

【雇用期間】4月1日～令和3年3月31日

【保険等】社会保険・雇用保険あり

【申込方法】市様式の履歴書を各担当課に直接、または郵送（申込期限日まで必着）で提出してください。※市様式の履歴書は各担当課にあります。

【選考方法】書類選考（市様式の履歴書）および面接 ※面接日時については、後日申込者に連絡します。

ワンストップ相談会を開催します

法律・経済・こころ・福祉などに関する相談窓口を1カ所に設け、県民の悩みに関する相談に専門機関の相談員が対応します。

【対象】宮崎県在住の人

【開催日】3月14日（土）

【時間】午前10時30分～午後4時

[受付終了] 午後3時30分

【場所】ハローワークプラザ宮崎（宮崎市大塚町西1丁目1-39）

【専門機関一覧】宮崎県弁護士会、宮崎県司法書士会、宮崎県看護協会、宮崎県公認心理師・臨床心理士会、宮崎県精神保健福祉士協会、宮崎県自殺防止センター、宮崎県公共職業安定所（ハローワーク宮崎）

【相談料】無料

【その他】事前申し込みは不要です。

問宮崎県福祉保健課 地域福祉保健・自殺対策担当

☎0985-26-7075



◎今月の表紙

2月1日、2日に行われた京町二日市。南九州最大といわれる買い物市です。今年は天候に恵まれ、約15万人が訪れ、バナナのたたき売りも多くの人でにぎわっていました。

今月の納税

固定資産税 第4期

国民健康保険税 第8期

後期高齢者医療保険料 第8期

介護保険料 第6期

3月2日（月）までに納めましょう。

人口 18,028人（前月比-34人）

男性／ 8,533人（-21人） 女性／ 9,495人（-13人）

転入／ 24人 転出／ 30人

出生／ 8人 死亡／ 36人

世帯数 8,377世帯（前月比-15世帯）

（令和2年2月1日現在）

夜に1時間ほど歩いていますが、オリオン座のベテルギウスが以前より暗いような気がします。よかったら夜空を眺めてみませんか。（東）

今年の京町二日市は、2日間とも快晴で暖かく、たくさんの人でにぎわっていました。会場にはどれを買うか選びきれないほどの露店の数々…。つつい買って過ぎてしまいました。（久保田）

Editor's



写真: さえずるホオジロ (撮影: 平成29年5月23日)

「ホオジロ」

春を運んでくれるアーティスト

2 月も下旬になると、日中は徐々に暖かい日が増えてきます。朝晩の厳しい寒さから解放されたポカポカしたとても心地よい時間です。

そんなポカポカ陽気につられて活動するのは人間だけではありません。多くの野鳥たちもここぞとばかりに活発になります。えびの高原のアカマツやノリウツギの木の頂点には胸を張って盛んにさえずるホオジロの姿がありました。目立つ場所を選びさえずるため、えびの高原で最も観察しやすい野鳥と言えます。

茶色い体色はスズメのようですが、尾羽が長く、顔の頬が白いことで見分けがつかます。また、頬が白いことが名前の「頬白」となったようです。

秋から冬の間は数羽の群れで地表に落ちている種子などをついばんでいる姿が見られますが、暖かくなるとオスは盛んにさえずりを開始します。えびの高原では、美しい歌声で春を運んでくれる大切なアーティストとなっています。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

ホオジロ
Emberiza cioides

スズメ目ホオジロ科

